

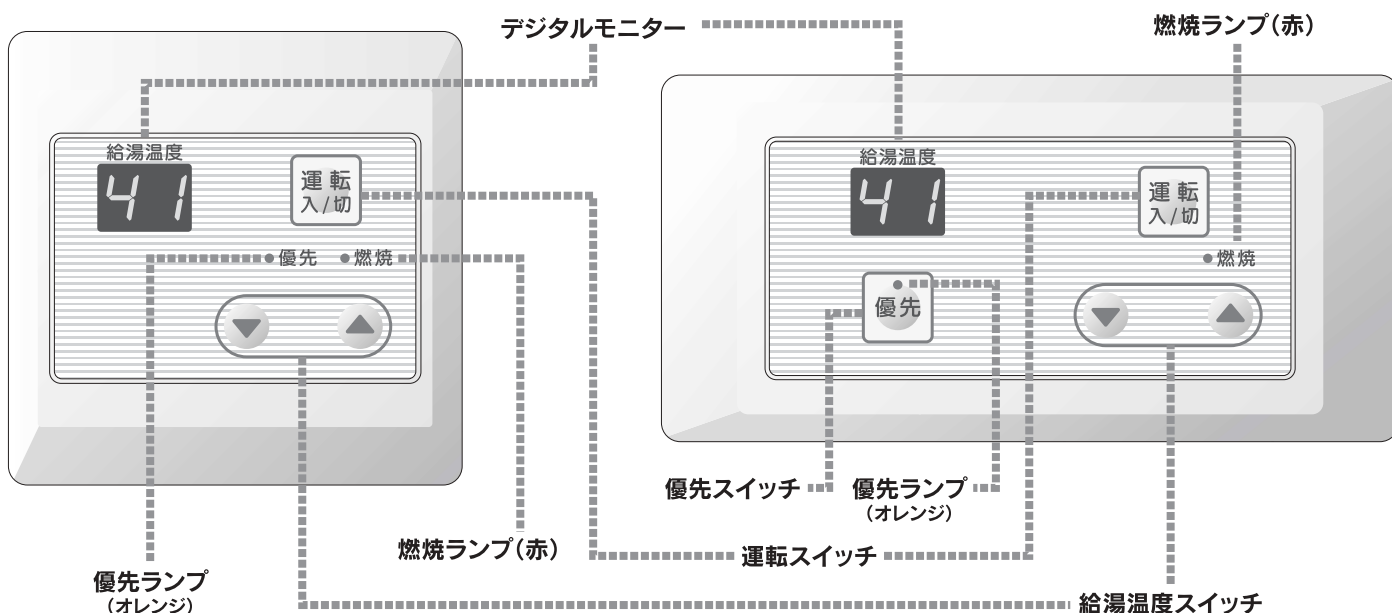
ガス給湯器用リモコン取扱説明書 〈MC-33-A・BC-45-A〉

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- 給湯器本体の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 取扱説明書は、いつでもご覧になれる場所に保管してください。
- この製品は国内専用です。

各部のなまえとはたらき

【台所リモコン MC-33-A】

【浴室リモコン BC-45-A】



- スイッチの操作はゆっくり確実に行ってください。早く操作すると作動しない場合がありますので、必ず「ピッ」という操作確認音を確認してください。
- 操作確認音は給湯温度スイッチ▲▼2個を同時に3秒以上押すことによって消すこともできます。
(台所リモコン・浴室リモコン別々に設定できます)
- 元に戻したいときはもう一度同じ操作をしてください。

リモコンの使い方

1

運転スイッチを押します。

【浴室リモコンの場合】

- デジタルモニターに給湯設定温度を表示し、同時に台所リモコンのデジタルモニターも点灯します。

【台所リモコンの場合】

- デジタルモニターに給湯設定温度を表示し、同時に浴室リモコンのデジタルモニターも点灯します。

給湯温度
41

運 転
入 / 切



警告

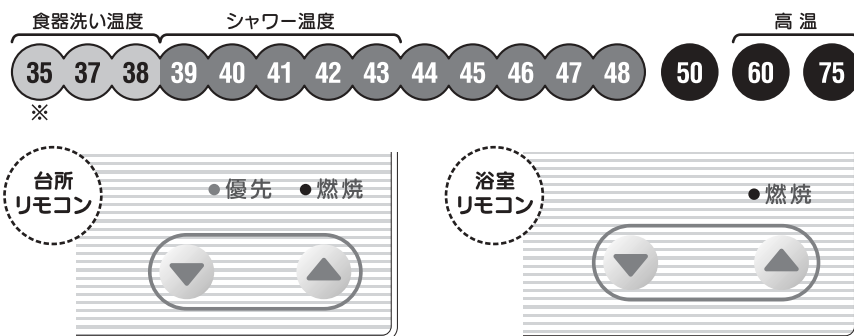
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管中に高温のお湯が残っていますので、次にシャワーを使用する際は十分に湯温を確認してから行ってください。
- お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンの運転スイッチを「切」にしないでください。
お湯が急に水になります。
- やけど防止のため、お風呂(特にシャワー)の使用中は絶対に使用場所以外のリモコンで湯温の変更はしないでください。
シャワーの温度もこの給湯温度スイッチで決まります。

※リモコンの運転スイッチが「切」の状態でお湯を使用する場合、混合水栓は必ず「水」の位置で使用してください。
「湯」の位置で水を流すと、機器内が結露して点火不良や故障の原因になります。



2

給湯温度スイッチで温度を決めます。

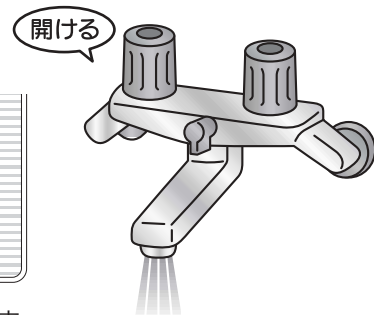


- 37℃ (35℃) から75℃まで上記の15 (16) 段階に設定できます。
温度はデジタルモニターに表示されます。
※印および()内は給湯機の機種により異なります。
右図は41℃に設定した場合ですが、実際の温度は季節や配管の長さによって異なります。
およそのめやすとお考えください。
- スイッチを押し続けると45℃以下の設定では連続で表示が変わりますが、
46℃以上にしたいときはスイッチを一回ずつ押してください。

3

お湯の蛇口を開けばお湯が出ます。

- お湯を使っている間は、下図のように燃焼ランプが点灯します。

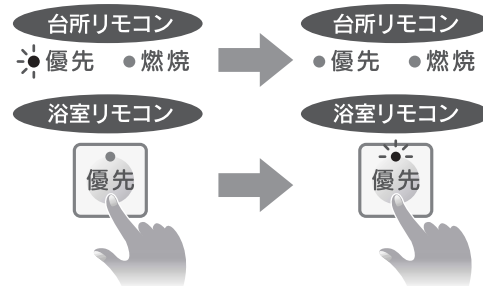


- 湯量を絞りすぎる (毎分約2リットル以下にする) とバーナの火が消えます。

?

運転スイッチが「入」になっているのに給湯温度が調節できない？

- 浴室リモコンと台所リモコンが設置されている場合、給湯温度が調節できるのは優先ランプが点灯しているリモコンだけです。
これはやけどなどの事故を防ぐためです。
- この優先権を切り替えるには浴室リモコンの優先スイッチを押します。
優先スイッチを一回押すたびに、優先権が浴室リモコン→台所リモコン→浴室リモコン…と交互に切り替わります。



- お買い上げの際には、給湯温度を42℃に設定してあります。
- 75℃の設定は、優先スイッチを押したり、運転スイッチを「切」にすると60℃設定に変わります。
- 湯量が給湯能力以上の場合は、リモコンの表示よりもぬるいお湯が出ることがありますので、湯量を絞ってお使いください。
- 給水温が高い場合は、リモコンの給湯温度表示よりも熱いお湯が出ることがあります。
- サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合、出湯温度が不安定になることがあります。この場合は混合水栓の設定温度を最高温度にして、リモコンで温度を設定してください。
- 浴室リモコンだけを接続してお使いの場合は、優先ランプは常時点灯状態になります。